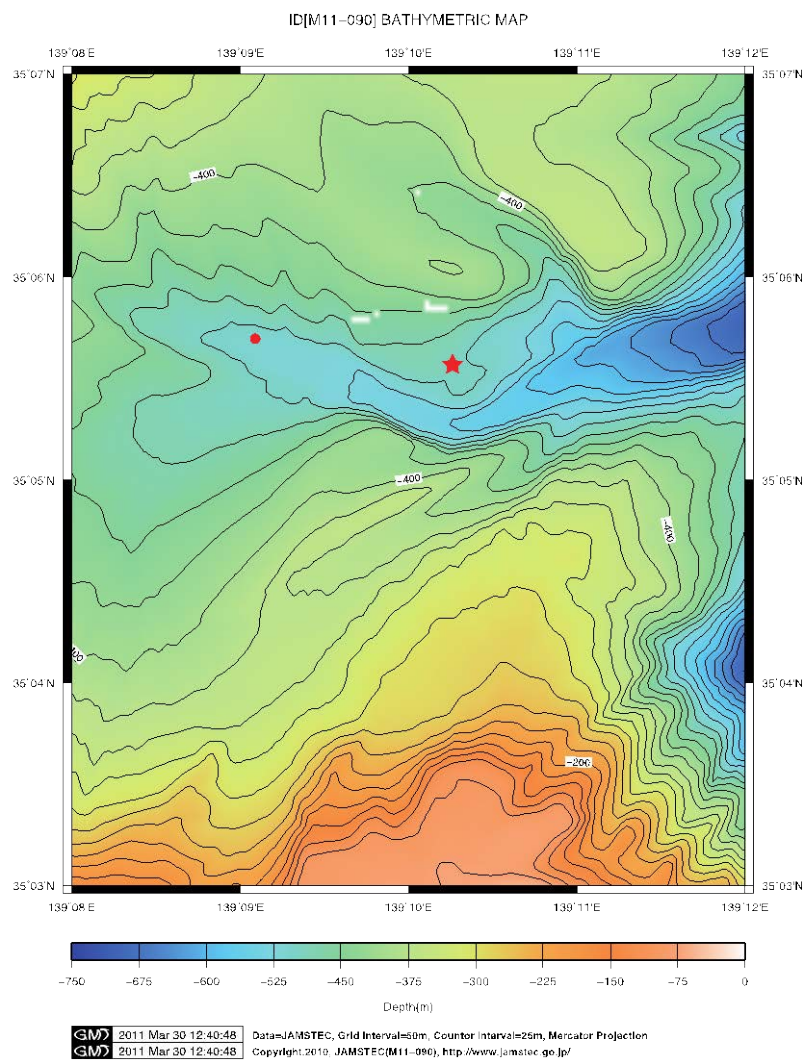


クルーズサマリー

1. 航海情報

- 航海番号 : NT12-15
- 船舶名 : 「なつしま」 / 「ハイパードルフィン 3000」
- 航海名称 : IMPACT0 (IMPlantation of Animal Carcasses for Time-series Observations)-2
- 首席研究者 [所属機関名] : 藤原義弘 [海洋研究開発機構]
- 課題代表研究者 [所属機関] : 藤原義弘 [海洋研究開発機構]
- 研究課題名 : 「鯨骨生態系の遷移初期の解明～巨大沈降粒子と深海鮫～」
- 航海期間 : 2012 年 6 月 21 日 (木) ~ 2012 年 6 月 24 日 (日)
- 出港地～寄港地～帰港地の情報 : JAMSTEC 岸壁 (横須賀) → JAMSTEC 岸壁 (横須賀)
- 調査海域名 : 相模湾
- 調査マップ

潜航地点を★で示した。本航海では●地点には潜航していない。



2. 実施内容

● 調査概要

腐肉食期から骨侵食期にいたる鯨骨生物群集の変化と鯨遺骸の消費速度を明らかにするために、相模湾熱海沖に沈設したマッコウクジラ遺骸の経過観察を実施した。マッコウクジラは体長約 5m の死亡後座礁した幼体で、2012 年 6 月 8 日に沈設した。沈設から約 2 週間後の様子を観察した結果、軟組織の 4 割以上が消費されていた。主な腐肉食者はアナゴ類、甲殻類であった。また長期観測のため、タイムラプスビデオカメラ、セジメントトラップを鯨遺骸近傍に設置した。更に鯨遺骸周辺の 3D マッピングを実施した。